



# 福島地区連合ニュース

発行所／福島地区連合 発行人／紺野 淳 福島市仲間町 4-8 ラコパ 5 階 TEL526-0123 fax526-0124  
<http://fukushima.jtuc-rengo.jp/> (連合福島ホームページ) → 地域連合 → 福島地区連合 → 福島地区連合ニュース

平成二十八年 元旦



## 新年あけましておめでとうございます。



福島地区連合議長

伊藤秀治

ご家族、ご友人と共に健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。福島地区連合を代表し、新年にあたってご挨拶をさせていただきます。

昨年は、みなさんにとっては、どんな年だったでしょうか。

海外では、イスラム国のパリ同時多発テロなど拡大をつづけるテロへの恐怖、中国の南シナ海における海洋進出問題。戦後七十年を経過するも一向に改善しない近隣国との関係。国内に目を転じれば、アベノミクスの期待効果とは裏腹に年々厳しさを増す地方行政と経営環境。戦争法案とも言われるような安全保障法案の改悪。生涯派遣を推奨するような、労働者派遣法の改悪など、我々労働者を取り巻く環境は厳しさを増すばかりの一年ではなかったかと思っております。

そんな中、組合員の皆さんには統一地方選での七月の市議会議員選挙・十一月の福島県議会議員選挙まで、連合が推薦する候補者に対しご支援をお願いし、懸命なる努力・協力をいただいております。

今次選挙戦については、さまざまな課題もあったかと思いますが、福島地区連合としては、一定の前進が図られた選挙だったと考えています。特に十一月に行われた県議選においては、福島地区として推薦した候補者3名全員の当選は大きな成果であり、共に素直に喜び合いたいと思います。

一方で、我々の考え方とは相違する労働者派遣法・安全保障関連法改悪・環太平洋連携協定(TPP)などについては、政権政党に大きな逆風とは成りませんでした。今年の七月には、今後の政局を左右する参議院議員選挙が控えており、組合員の政治意識の向上に向けた早急な取り組みが今、求められております。しかしながら、組合員の自発的な政治・政策活動への参加を克服する特効薬はありません。職場における組合活動と、連合が取り組む組む大衆行動への積極的な参加により、組合員、ひとり一人が生活と政治に関して意識できる環境づくりが重要であり組合の組織強化・活性化にも結び付くものと考えております。

今年一年の組合員の皆様、ご家族の皆様方のご活躍と健康。そして何よりも今年こそ災害の無い一年になることを祈念し、新年に当たってのご挨拶とします。

